

## Talk & Talk

### 市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただきます。あて先は広報広聴係（〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所企画財政課）です。

## 白根市社会福祉大会に参加して

河内勝哉（鬼古川）

私は、中途から視力障害が重度化し、最近では通院はもうろく、一般道路での一人歩きも制限を受けています。そんな自分が時代の流れに対応できず、社会に取り残されるような気がしてなりません。そのことで思い悩む毎日でした。そんなとき、「白根市社会福祉大会」に招待され、参加させてもらいました。

## 文化財は時代に生きる架け橋

文化財保護審議会委員 渡辺 享（下大郷）

だれしも人生の中に涙の詩があり、語りつくせないドラマがあります。

昭和七年、農村は不況でした。我が家は十人家族で、そのうち

の七人が伝染病の腸チフスで入院。四人が亡くなりました。私も病気がかり、ベッドでの闘病生活が続きました。そんな私の苦しみをやわらげようと看護のおばあさんが毎日のように昔話を語ってくれたことを今でも鮮明に記憶しています。

また、左足の病気がかり、足を切るか、死を待つかと医者に言われ、寂しがついている私をいつも昔話で元気づけてくれたのもおばあさんでした。運良く足も切らずに済み、全治することができ、二十歳で海軍に入隊。軍隊生活の始めに、上官から「貴様らは二十歳まで生かしてもらった恩に感謝せよ。陛下のために喜んで死んでくれ」と言われたものでした。

終戦になると一転して「日本再建のために生きてくれ」と教育され、先が見えない不安な日々が続きました。

「このような状況のときに郷土の先人たちは、どのように生きてきたかを調べてみよう」と、昭和二十年十月から郷土史の研究を始めました。昭和三十年に大郷村史が完成。その後も研究を続けていくうち、昭和四十七年に文化財保護審議会が設けられ、私もその一人として今日まで委員を務めています。その間、極限の可能性に挑戦することもありました

が、人の脳は意欲で動くコンピュータだと言われていますので、「心を燃やせば、脳は活性化する」と信じて乗り切ってきました。これまで、白根発祥の証しを示す出土品や日本最古のナシ栽培技術書など白根に関する資料が何千点も収集されました。白根は水との闘いの地、その地に生きてきた貴重な遺産に先人の尊さを深くしのびました。これらの資料のうち、約四百点が「しろね大風と歴史の館」に展示されています。

郷土の歴史や文化に誇りを持つて文化の心を耕し、創造力を養いながら楽しく融和し、各地域との係わりの中で新たな文化が生まれ、交流し合うことで、人生が豊かになると心に刻んでいます。

文化財は、「時代に生きる人の架け橋」と信じています。歴史は振り返らなければ消えていきます。振り返る心によって、よみがえり、時代の風をどう引き寄せるか、新しい時代を目指して知的水準をより高めることに結び付けていきたいと思っています。私も老年、勇み足にならないように定められた約束ごとの秩序を守り、要望、提案を高い視点で検討し、文化財を維持しつつ、行動範囲を十分考えながら取り組んでいきたいと思っています。

## 広報クイズ

【応募方法】 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係（〒950-12 白根市大字白根1235）へ。締め切りは2月14日（金）必着。正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

### 【問題】

①英語スピーチコンテストで選ばれた中・高校生がアメリカへ行くのはいつ？（ヒント＝8ページ）

A＝春休み B＝夏休み C＝冬休み

②見附の風合戦が始まったのはいつの時代から？（ヒント＝12ページ）

A＝明治時代 B＝江戸時代 C＝大正時代

③成人が一日に運動で消費したいエネルギーは何キロカロリー？（ヒント＝14ページ）

A＝200 B＝300 C＝400

【当選おめでとう】 先月の正解は①A②C③Aでした。 【図書券】 小林美雪（菱湯新田）有田史花（大通南）松原誠良（下木山）富山喜幸（戸頭）小林光子（上塩俣）

【自然科学館招待券】 松沢和代（戸石新田）吉田雅樹（杉菜町）関根由加子（東萱場）

## 今月のハガキから

◎サイクリングロードが出来ると良いですね。いつでも卓球やほかのスポーツが出来るところがあると良いと思います。 (I)

◎白根市にパン屋さんがたくさんあるとうれしいです。 (A)

◎年末年始は一家そろって風邪をひき、どこにも行けませんでした。早く暖かくなれないかなあ。子供の具合が悪いのは自分が難儀なのより辛いです。 (K)

◎「ロール白菜のスープ煮込み」とも役に立ちました。こういうコーナーがいっぱいあるとうれしいです。 (H)



- ◎イラストははがきに黒一色ではっきりと。
- ◎薄い鉛筆書きはボツにします。
- ◎ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を忘れずに。採用分には粗品を進呈。
- ◎締め切りは毎月15日。それ以降に届いたものは翌月に回します。
- ◎あて先 〒950-12 白根市大字白根1235 白根市役所広報しろねイラスト係



▲P.N. みなしさん (日の出町・14歳)



▲P.N. 星野よぞらさん (大通2・12歳)



▲P.N. FFXII男さん (下木山・11歳)



▲高井 梓さん (高井興野・11歳)



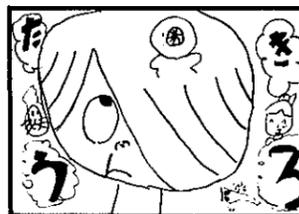
▲P.N. ウォーカル達也さん (下鷲ノ木2)



▲渡辺結維さん (戸頭・8歳)



▲佐藤香織さん (高井東・11歳)



▲P.N. K・Iさん (上塩俣・7歳)

## 市民文芸

### 俳句

人騒半悠然として師走 安沢 飛浪  
 狛犬の阿吽の静寂銀杏散る 公修 雪夫  
 狐火の少しおくれれて行くが嫁 猪股 南魚  
 歳月の流れ愛しき落葉掃く 木村 トリ  
 陽に語り風に語りて冬未立 堀内ナナ子  
 鯉と日を重ね居る師走かな 細貝 かな  
 一ぬけし二三もぬけし焚火の輪 豊木サダ子  
 貢祿も十分毛皮着こなして 小林 光子  
 羽たゆませ絶ませ飛んで冬立 古川 綾  
 肩の出し眩しき大根抜き 笠原 里津  
 幾重にも暖簾のごとく大根干す 和泉 伸子  
 澤庵のメモ確かめつ塩入る 山口 初野  
 仕来たりはまだあれこれと松の内 間島さよ子  
 嫁が君終の棲家のこの暗さ 真島つぎえ  
 胃の疲れ劣る粥や松の内 小林 なお  
 山寺の疎木を走る嫁が君 遠藤 大蔵  
 松の内今朝も東ねた文届く 小林富沙子  
 松退きの早や混み合っ 塚本 静子  
 飯場まだ煙の見えず松の内 知野信一郎  
 起重機の雲突くまに松の内 金子 千代  
 許されし朝寝癖つく松の内 田中美根子  
 神棚に神を畏れぬ嫁が君 丸山 虚秋  
 福引の町に演歌のひとつしり 開野 秀穂  
 新年を共に迎えた暮の風邪 永井 ミチ

### 短歌

冷ゆる朝つばみふくらむ寒椿  
 紅顔ちてあたたかく見ゆ  
 星 ハツノ

花柄のホーロー鍋も加えられ  
 何やら愉し古き厨辺 佐藤 ケイ  
 力なく悲しき時は小さき事  
 特に励めと御霊言い給う 出来島 サホ  
 遠く住む母の電話のひくき声  
 息つき安く耳をなぐさむ 村山 和江  
 故里の香りを添えて宅急便  
 「初荷着いたよ」と娘のはずむ声 阪井 いくの  
 白鳥が岸辺に寄りて我をあげぬ  
 赤きりぼんを結うてあげたし (瓢湖にて) 田部 清一  
 河原ゆく犬と我とに残月が  
 水門回り付いて来にけり 剣 淑子  
 別れ路に星が綺麗と言ひし友  
 青き銀河を背に帰る 安達 富美  
 次男の孫俺も自衛隊に行くと言ふ  
 士長の兄は何励ますや 小出 熊四郎  
 健康の幸せ花の美しさ  
 痛みてわが身に散る みれん花 河内 勝哉

川柳  
 三日坊主健康法をまた始め 佐藤 ヨキ  
 老いの間に住処を移す冬のハエ 田村 恒夫  
 消費税と書いてる風が良く揚がり 高橋祐四郎  
 太陽が西から上がる永田町 中村 尚治  
 頭の緒落して孫と対話する 西条 ムラ  
 踏み出した足に一日賭けてみる 山岡 フミ  
 年金に濃淡のあるクラス会 吉川 彰  
 末席の酒は安心して飲める 今井 七郎  
 寒い日はベッドで描いて 織田 福治  
 友情と言う絵皿にのせた 織田 セツ  
 静かです夫婦喧嘩の去った跡 大谷 龍吉  
 温泉で鏡の前に立つアノド 岡 満記子  
 汚職病なおす葉が見当らず 後藤マサノ  
 漬けもの石に亡母の重さを知られる 佐藤トミノ  
 おせ辞だけにする接待に罪がない 今井八重子